

怒りの4・26自治労全国統一ストライキと一体となつて

4.23 住宅闘争裁判(大阪地裁)へ総決起しよう 9時半八尾北に集まってください



11年7月26日八尾市抗議闘争を闘う大北君

私は大北昌和の母親です。現在87歳になります。息子の昌和は1年前脳梗塞になって入院し、闘病生活をしていました。だが、1月8日亡くなりました。1月8日亡くなりました。店舗3棟の自分の部屋に帰りたい、階段を背負ってもらって帰りたいと言ったのが最後の

陳述書

島瀬とよ子

4月23日の裁判では、島瀬とよ子さんが、亡くなった息子の昌和さんの遺志を引き継いで、たたかう意見陳述をおこないます。傍聴に参加し、島瀬さんと一緒に闘いましょう。

言葉です。

この住宅は市営住宅と言っても自分の家であり、住みやすい村にしようとして夫やムラの人たちが運動して、苦勞して建てた歴史がまつた住宅です。誇りある住宅です。昌和を帰してやりたかった。悔しいです。田中市長は金のために、住民の意思を無視し、生活や命がどうなつてかわらないと西郡を更地にしていくとしています。絶対にゆるせません。昌和の遺志引き継ぎ昌和は、狭山闘争にもよく(うしろ)につく



4月14日動労西日本のストに西郡支部もかけつけ共に闘う。連帯の発言する佃青年部長

もはやがまんができない。いま政府の号令一下、全公務員の基本給の7・8%、一時金の10%削減、(1カ月の賃金カット=ただ働き)退職金400万のカットが強行されようとしています。すでに八尾市では400万円の退職金カットが決まりました。こんなことを許したら、あらゆる企業が一律に賃下げ競争を始めます。この攻撃は、全労働者への攻撃です。怒りの4・26自治労全国統一ストライキが闘われます。公務員・民間・正規・非正規の分断をうち破る6000万労働者すべての未来をかけた4・26ストライキの貫徹と一体になろう

公務員7.8%賃金カットは全労働者への攻撃

闘争裁判に総決起しよう。家族の住宅闘争を闘う。西郡10家族の住宅闘争を闘う。闘争がきり開かれ、4・26ストライキにつながっています。4・23大阪地裁へ、みんなで

労働者をモノのように扱い、全ての青年労働者を非正規職にたたき込み、低賃金と長時間労働で生活も命も奪いさる安倍政権、橋下大阪市長、資本家階級の攻撃。この攻撃と「金のために、住民の意思を無視し、生活や命がどうなつてもかわらない」と西郡を更地化していく「攻撃」(島瀬さん陳述書)は、新自由主義・道州制のメダルの裏表の攻撃です。安倍や橋下、田中市政の住宅追い出し攻撃に對して、西郡住宅闘争と八尾北・西郡決戦は、一歩もひかず絶対反対で真正面から立ち向かい、階級的団結の拡大で勝利し闘いぬいていきます。「闘えば勝てる」と関西・全国の労働者を励まし、勇気づけ、昨年9・16、今年の2・24の橋下打倒闘争がきり開かれ、4・26ストライキにつながっています。4・23大阪地裁へ、みんなで

新自由主義と闘う新しい部落解放運動をたたかおう

連絡先：八尾市桂町6-18-20 電話：072-991-7729

支部ブログ：<http://nisigoorisibu.cocolog-nifty.com/>
メール：zenkokurennisigoori@yahoo.co.jp

労組ブログ：<http://blog.goo.ne.jp/yaokitairyourouso>
メール：yaokitairouso@yahoo.co.jp 2013/4/19刊

全国連西郡支部
八尾北医療センター労働組合